

徳島飛行場と周辺整備事業

【徳島飛行場拡張整備事業】

平成13年に工事が開始された、徳島飛行場拡張整備事業は平成21年度が最終年度となるため、最終工区のターミナル地区では年度末に複数の工事が集中し大わらわでした(右写真)。

完成したターミナルや2,500m滑走路等の施設は平成22年4月8日より供用が開始されます。

当事業により、大型ジェット機の就航が可能となる他、離発着時の安全性や災害時の緊急輸送能力が向上することとなり、経済活動活性化などの面で徳島地域への貢献が期待されます。



事業名		埋立地等の土地利用	開発面積(ha)
徳島飛行場拡張整備事業		空港施設用地 (滑走路、空港ターミナル施設用地)	40.6 (39.9)
徳島空港 周辺整備 事業	港湾環境整備事業	廃棄物最終処分場の埋立護岸	98.4 (59.8)
	空港地域整備事業	月見ヶ丘海浜公園	
	空港周辺臨海土地造成事業	徳島空港臨空用地、 下水処理施設用地など	
合計			139(99.7)

()は埋め立て面積の内数を示します。

整備工程

- ・平成9年 事業採択
- ・平成10年 環境影響評価
- ・平成13年 埋立護岸工事開始
- ・平成16年 埋立(直投)開始
- ・平成17年 用地造成開始
排水施設整備開始
- ・平成20年 舗装工事開始
- ・平成22年 供用開始

【徳島空港周辺整備事業】

徳島飛行場の拡張整備に併せて、広域的な都市環境の改善や空港周辺の活性化を図るために、空港周辺整備事業を徳島県が推進しています。

空港周辺整備事業では、これまでに月見ヶ丘海浜公園や廃棄物処分場、下水処理場用地等の整備が完了し、現在、産業用地(徳島空港臨空用地)の整備が進められています。

